

北神けいろうの国政報告：5月号

○いつも大変お世話になっています。

平成24年度予算が成立しました。これによって、東日本大震災からの本格的な復興はもちろんのこと、全国各地において、国・地方自治体が協力し合い防災対策を進めてまいります。

京都市では、「いのちを守る 橋りょう健全化プログラム」を策定し、今年度から5年間で集中的に取り組みを進めることになっています。一方、国としては、その取り組みを主に財政的に支援していきます。

その中でも、緊急輸送道路上の橋や鉄道や道路をまたぐ橋を中心に、老朽化が進んでいる橋について、特に力を入れて耐震化など大規模改修や架け替えを進めます。

今年度着手するもの

○松尾橋（右京区～西京区）

国の「地域自主戦略交付金」を活用し、耐震補強を進めます。

○笹部橋（京北宮町）

京都市単独事業として、老朽化修繕を進めます。

これから着手する予定のもの

【耐震補強】

- 桂橋（西京区桂浅原町）
- 綾小路跨線橋（右京区西院北矢掛町）
- 嵐山高架橋（右京区嵯峨天龍寺造路町）
- 井御料橋（右京区西院北矢掛町）
- 鳥居本橋（右京区嵯峨鳥居本一華表町）
- 野々宮跨線橋（右京区嵯峨野々宮町）
- 新西川橋（西京区大枝塚原町）
- 京北橋（右京区京北周山町）
- 筒江橋（右京区京北上弓削町）
- 出口橋（右京区京北五本松町）

【老朽化修繕】

- 堂の橋 ○細野谷橋 ○宮ノ辻橋 ○八幡橋
- （いずれも国道162号、右京区京北地区内）

○阪神大震災、東日本大震災、それに各地で発生した自然災害の経験から学び、府市と連携して、万が一の際の避難路の確保、緊急車両の通行確保のための「備え」を充実させてまいります。

国も財政的には厳しい状況ではありますが、地元の安全・安心を実現するために、私も奮闘してまいります。